

数理解析研究所講究録 683

短期共同研究

複素解析と大域解析

—微分方程式の視点から—

禁帯出期間

1. 4. 24—5. 1

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1989年3月

京都大学

90093679

図書

数理解析研究所

序

近年、広い意味での常微分方程式の研究が、代数学や幾何学などと、互いに刺激しあって発展するという、本来の健全な姿をとりもどしつつあるように思われる。

この方向に長年努力してこられた木村俊房先生が還暦を迎えられるのを機会に、研究の上で先生と関係が深かった方々に集まっていただき、問題提起を中心にした研究会を持った。この講究録はその一部をまとめたものである。今後、それぞれの研究が深まり、数学の発展に寄与することを期待したいと思う。

1989年3月1日

高野 恭一

短期共同研究

複素解析と大域解析—微分方程式の視点から—

報告集

1988年11月14日～11月17日

研究代表者 高野 恭一 (Kyoichi Takano)

目 次

1. 3次元多様体の多面体表示について	1
慶応大・理工 石井 一平 (Ipei Ishii)	
2. STRUCTURE OF THE MODULI SPACE OF SL-OPERATORS ON A RIEMANN SURFACE AND THE MONODROMY PRESERVING DEFORMATION	9
東大・理 岩崎 克則 (Katsunori Iwasaki)	
3. 半不変ベキ級数	32
佐賀大・教養 上野 一男 (Kazuo Ueno)	
4. Drach-Vessiot 理論について	44
熊本大・理 梅村 浩 (Hiroshi Uemura)	
5. スペクトル関数の表示と構成	58
東京水産大 上村 豊 (Yutaka Kamimura)	
6. ある非線形方程式の漸近的性質について	67
慶応大・理工 下村 俊 (Shun Shimomura)	
7. Painlevé方程式の第2種特異について	76
神戸大・理 高野 恭一 (Kyoichi Takano)	
8. Cauchy問題の解の特異性の伝播について	85
千葉大・理 筒井 亨 (Toru Tsutsui)	

9. A NOTE ON ADJOINT SEMIGROUPS ASSOCIATED WITH SOME LINEAR FUNCTIONAL DIFFERENTIAL EQUATIONS-----	91
電通大	内藤 敏機 (Toshiki Naito)
10. 非線形常微分方程式の特異点の定性的理論-----	103
東大・理	村田 嘉弘 (Yoshihiro Murata)
11. 超幾何微分方程式の幾何学的一般化-----	116
九大・理	吉田 正章 (Masaaki Yoshida)